



平成30年1月期 第1四半期決算短信（非連結）

平成29年6月15日

会 社 名 株式会社K-GOLDインターナショナル 上場取引所等 グリーンシート
 コード番号 2679 本社所在都道府県 静岡県
 (URL <http://www.k-gold.co.jp/>)
 本社所在地 静岡県浜松市中区西丘町276番地の5
 代 表 者 役 職 名 代表取締役社長
 氏 名 横田 光夫
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役執行役員管理部長
 氏 名 青島 謹一 TEL (053) 438-6311

1. 平成30年1月期第1四半期の業績（平成29年2月1日～平成29年4月30日）

（注） 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 本四半期決算短信の数値は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
30年第1四半期	1,775 (△31.6)	△24 (—)	△28 (—)
29年第1四半期	2,595 (18.8)	8 (△82.7)	3 (△91.5)

	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自 己 資 本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
30年第1四半期	△30 (—)	△2,705 51	—	△0.9	△0.4	△1.6
29年第1四半期	△10 (—)	△919 59	—	△0.3	0.0	0.1

（注） 1. 期中平均株式数 30年第1四半期 11,100株 29年第1四半期 11,100株

2. 会計処理の方法の変更 無

3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を表しております。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産額
	百万円	百万円	%	円 銭
30年第1四半期	7,384	3,225	43.7	290,582 52
29年第1四半期	7,513	3,286	43.7	296,077 25

(注) 期末発行済株式総数 30年第1四半期 11,100株 29年第1四半期 11,100株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年第1四半期	△467	△20	△109	779
29年第1四半期	△241	△58	183	845

2. 平成30年1月期の業績予想（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

	売 上 高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中 間	第3四半期	期 末	年 間
	百万円	百万円	百万円					
中 間 期	3,575	△49	△70	—	0	—	—	—
通 期	7,310	12	△32	—	0	—	1,000	1,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） △2,909円 91銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後さまざまな要因により、上記予想数値と異なる結果となる場合があります。

第 27 期 第 1 四半期報告書

(平成 29 年 2 月 1 日から平成 29 年 4 月 30 日まで)

会社名(定款上の商号) 株式会社K-GOLDインターナショナル
 英文名(英文商号) K-GOLD INTERNATIONAL CORPORATION
 コー ド 番 号 2 6 7 9
 代表者の役職氏名 代表取締役社長 横田 光夫
 本店の所在の場所 静岡県浜松市中区西丘町 276 番地の 5
 電 話 番 号 053-438-6311
 連 絡 者 取締役執行役員管理部長 青島 謹一

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目 \ 期 別	第 27 期 第 1 四半期 〔自平成 29 年 2 月 1 日〕 〔至平成 29 年 4 月 30 日〕	当期累計 〔自平成 29 年 2 月 1 日〕 〔至平成 29 年 4 月 30 日〕	前年同期累計 〔自平成 28 年 2 月 1 日〕 〔至平成 28 年 4 月 30 日〕
I 売 上 高	1,775,833	1,775,833	2,595,679
II 売 上 原 価	1,027,520	1,027,520	1,739,768
売 上 総 利 益	748,312	748,312	855,911
III 販売費及び一般管理費	773,255	773,255	847,629
営業利益又は損失(△)	△24,942	△24,942	8,281
IV 営 業 外 収 益	934	934	267
V 営 業 外 費 用	4,540	4,540	4,859
経常利益又は損失(△)	△28,548	△28,548	3,689
VI 特 別 損 失	6,139	6,139	2,286
税引前四半期純利益又は純損失(△)	△34,688	△34,688	1,403
法人税、住民税及び事業税	6,800	6,800	8,700
法人税等調整額	△11,457	△11,457	2,910
四 半 期 純 損 失 (△)	△30,031	△30,031	△10,207

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

項 目 \ 期 別	第 27 期 第 1 四半期 〔自平成 29 年 2 月 1 日〕 〔至平成 29 年 4 月 30 日〕	当期累計 〔自平成 29 年 2 月 1 日〕 〔至平成 29 年 4 月 30 日〕	前年同期累計 〔自平成 28 年 2 月 1 日〕 〔至平成 28 年 4 月 30 日〕
期 中 平 均 株 式 数	11,100 株	11,100 株	11,100 株
1 株 当 た り 四 半 期 純 損 失 金 額 (△)	△2,705 円 51 銭	△2,705 円 51 銭	△919 円 59 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益 金 額	—	—	—

※ 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額は、1 株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第 26 期末 (平成 29 年 1 月 31 日現在)	第 27 期 第 1 四半期 (平成 29 年 4 月 30 日現在)
(資 産 の 部)		
I 流 動 資 産		
1. 現 金 及 び 預 金	1,376,990	779,907
2. 売 掛 金	514,334	536,076
3. 商 品	3,505,307	3,949,415
4. 繰 延 税 金 資 産	16,105	29,633
5. 差 入 保 証 金	74,650	61,995
6. そ の 他	123,674	145,499
貸 倒 引 当 金	△19,200	△19,200
流 動 資 産 合 計	5,591,862	5,483,328
II 固 定 資 産		
1. 有 形 固 定 資 産		
(1) 建 物	215,893	211,219
(2) 車 両 運 搬 具	1,583	1,444
(3) 工具、器具及び備品	17,857	16,612
(4) 土 地	788,475	788,475
有 形 固 定 資 産 合 計	1,023,809	1,017,752
2. 無 形 固 定 資 産		
(1) ソフトウェア	20,056	20,739
(2) そ の 他	3,885	3,885
無 形 固 定 資 産 合 計	23,941	24,624
3. 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券	17,399	19,437
(2) 関係会社株式	88,004	88,004
(3) 出 資 金	485	485
(4) 長期前払費用	19,706	18,407
(5) 繰延税金資産	39,825	36,396
(6) 敷金及び保証金	601,738	605,065
(7) そ の 他	88,938	91,114
投資その他の資産合計	856,096	858,911
固 定 資 産 合 計	1,903,848	1,901,288
資 産 合 計	7,495,710	7,384,616

(単位：千円)

期 別 科 目	第 26 期末 (平成 29 年 1 月 31 日現在)	第 27 期 第 1 四半期 (平成 29 年 4 月 30 日現在)
(負 債 の 部)		
I 流 動 負 債		
1. 買 掛 金	47,690	52,838
2. 短 期 借 入 金	2,000,000	2,000,000
3. 1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	700,032	620,372
4. 未 払 金	41,502	43,258
5. 未 払 費 用	178,180	201,515
6. 未 払 法 人 税 等	—	10,725
7. 未 払 消 費 税 等	29,276	—
8. 前 受 金	11,032	12,853
9. 賞 与 引 当 金	16,200	32,400
10. ポ イ ン ト 引 当 金	15,199	16,150
11. デ リ バ テ ィ ブ 債 務	5,664	1,098
12. そ の 他	2,175	6,975
流 動 負 債 合 計	3,046,954	2,998,188
II 固 定 負 債		
1. 長 期 借 入 金	999,361	980,586
2. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	45,780	46,590
3. 資 産 除 去 債 務	136,325	126,312
4. 長 期 預 り 保 証 金	5,640	7,473
固 定 負 債 合 計	1,187,106	1,160,962
負 債 合 計	4,234,061	4,159,150
(純 資 産 の 部)		
I 株 主 資 本		
1. 資 本 金	282,500	282,500
2. 資 本 剰 余 金		
(1) 資 本 準 備 金	170,000	170,000
3. 利 益 剰 余 金		
(1) 利 益 準 備 金	24,500	24,500
(2) そ の 他 利 益 剰 余 金		
別 途 積 立 金	1,000,000	1,000,000
繰 越 利 益 剰 余 金	1,787,933	1,746,802
株 主 資 本 合 計	3,264,933	3,223,802
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等		
1. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	681	2,432
2. 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△3,965	△768
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△3,283	1,663
純 資 産 合 計	3,261,649	3,225,465
負 債 純 資 産 合 計	7,495,710	7,384,616

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 項 目	第 26 期末 (平成 29 年 1 月 31 日現在)	第 27 期 第 1 四半期 (平成 29 年 4 月 30 日現在)
発 行 済 株 式 総 数	11,100 株	11,100 株
1 株 当 たり 純 資 産 額	293,842 円 32 銭	290,582 円 52 銭

(3) 株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				株主資本合計
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益 剰余金 合計	
					別途 積立金	繰越利益 剰余金		
平成 29 年 2 月 1 日 残高	282,500	170,000	170,000	24,500	1,000,000	1,787,933	2,812,433	3,264,933
第 1 四半期中の変動額								
剰余金の配当						△11,100	△11,100	△11,100
四半期純損失（△）						△30,031	△30,031	△30,031
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額（純額）								
第 1 四半期中の変動額合計	—	—	—	—	—	△41,131	△41,131	△41,131
平成 29 年 4 月 30 日 残高	282,500	170,000	170,000	24,500	1,000,000	1,746,802	2,771,302	3,223,802

	評価・換算差額等			純資産 合計
	その他 有価証券 評価 差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計	
平成 29 年 2 月 1 日 残高	681	△3,965	△3,283	3,261,649
第 1 四半期中の変動額				
剰余金の配当				△11,100
四半期純損失 (△)				△30,031
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額(純額)	1,751	3,196	4,947	4,947
第 1 四半期中の変動額合計	1,751	3,196	4,947	△36,183
平成 29 年 4 月 30 日 残高	2,432	△768	1,663	3,225,465

※ 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、貴金属の全国的なリサイクルネットワーク事業を営んでおり、直営店舗による店舗運営本部と百貨店との取引による営業部を設置し、店舗運営事業と百貨店関係事業の2つを報告セグメントとしております。

② 各セグメントの主要な内容

店舗運営事業：直営店舗における一般顧客からの貴金属の買取り及びリフレッシュジュエリー販売、貴金属商社等に対する貴金属地金の売却

百貨店関係事業：百貨店の常設店舗等における一般顧客からの貴金属の買取り及び宝石リフォーム販売、貴金属商社等に対する貴金属地金の売却

③ 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失

前第1四半期累計期間（自 平成28年2月1日 至 平成28年4月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表 計上額 (注3)
	店舗運営事業	百貨店 関係事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1, 610, 460	305, 851	1, 916, 312	679, 366	2, 595, 679	—	2, 595, 679
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1, 610, 460	305, 851	1, 916, 312	679, 366	2, 595, 679	—	2, 595, 679
セグメント利益	25, 852	16, 314	42, 167	27, 585	69, 752	△61, 470	8, 281

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、不動産賃貸事業、国内卸売事業、海外子会社への卸売事業及び同業者等からの買受事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び全社的費用であります。

3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期累計期間（自 平成29年2月1日 至 平成29年4月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	財務諸表 計上額 (注3)
	店舗運営事業	百貨店 関係事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,334,356	329,695	1,664,051	111,782	1,775,833	—	1,775,833
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,334,356	329,695	1,664,051	111,782	1,775,833	—	1,775,833
セグメント利益	△11,438	22,671	11,232	19,125	30,357	△55,300	△24,942

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、不動産賃貸事業、国内卸売事業、海外子会社への卸売事業及び同業者等からの買受事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び全社的費用であります。

3. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5経理の状況 注記事項 重要な会計方針」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法

各四半期末現在の固定資産にかかる減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

Ⅱ 第 27 期 第 1 四半期（平成 29 年 2 月 1 日から平成 29 年 4 月 30 日）の業績の概況

当第 1 四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境などに改善が見られ、概ね回復基調で推移しました。一方、英国の EU 離脱交渉の本格化や米国大統領の政策等の影響による海外経済の下振れ懸念から、景気の先行きは不透明な状況となっております。

小売業界におきましては、雇用環境等に改善がみられるものの、実質所得の伸び悩みなどにより、節約志向が根強く残るなど、個人消費の本格的回復までには至っておらず、依然として厳しい経営環境が続いております。

以下、報告セグメントごとに業績の概況を報告いたします。各セグメントの売上高は、外部顧客への売上高を記載しております。

〔店舗運営事業〕

店舗運営事業におきましては、新規顧客獲得の強化を行い、メンバーズに入会いただいたお客様へ再来店を促すためのイベントを開催するなど、売上拡大に努めました。店舗の出退店につきましては、定期建物賃貸借の契約満了及び不採算の理由による「リサイクルキング」8 店舗の閉鎖がありましたので当事業部門の店舗数は 111 店舗（前年同期比 24 店舗減）となりました。その結果、ジュエリー等の店舗売上高は、前年同期比 2.2%減、買取りに伴う地金売上高は前年同期比 43.1%減、売上高合計は 1,334,356 千円（前年同期比 17.1%減）となりました。買取につきましては、568,753 千円（前年同期比 1.5%減）となりました。

〔百貨店関係事業〕

百貨店関係事業におきましては、引き続き常設店のイベント強化や、イベント企画会社との連携による売上の拡大を図りました。常設店舗数につきましては、当第 1 四半期には出退店がなく、当事業部門の常設店舗数は 19 店舗（前年同期比増減なし）となっております。その結果、宝石リフォーム等の百貨店への売上高は、前年同期比 19.2%減、買取りに伴う地金売上高は、前年同期比 30.3%増、売上高合計は 329,695 千円（前年同期比 7.8%増）となりました。買取につきましては、144,533 千円（前年同期比 1.5%増）となりました。

〔その他〕

その他の区分に関しましては、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通信販売事業、レンタル事業、不動産賃貸事業、国内卸売事業、海外子会社への卸売事業及び同業者等からの買受事業を行っており、売上高は、111,782 千円（前年同期比 83.5%減、前年同期は国内卸売事業において単発的に大口取引がありました。）、貴金属等の買取高は、21,402 千円（前年同期比 10.8%減）となりました。

以上の結果、当第 1 四半期累計期間におきましては、売上高 1,775,833 千円（前年同期比 31.6%減）、営業損失 24,942 千円（前年同期は営業利益 8,281 千円）、経常損失 28,548 千円（前年同期は経常利益 3,689 千円）となり、四半期純損失は 30,031 千円（前年同期は四半期純損失 10,207 千円）となりました。

Ⅲ 第 27 期通期の売上高及び利益の予測について

第 27 期通期の売上高及び利益の予測につきましては、当初予想に変更はありません。

(単位：千円)

項 目 \ 期 別	第 26 期 (実績) 〔 自平成 28 年 2 月 1 日 〕 〔 至平成 29 年 1 月 31 日 〕	第 27 期 (予測) 〔 自平成 29 年 2 月 1 日 〕 〔 至平成 30 年 1 月 31 日 〕
売 上 高	8,654,197	7,310,000
経 常 利 益	50,681	12,400
当 期 純 損 失 (△)	△29,021	△32,300

Ⅳ 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

項 目 \ 期 別	第 27 期 第 1 四半期 〔 自平成 29 年 2 月 1 日 〕 〔 至平成 29 年 4 月 30 日 〕
現 金 及 び 預 金 の 増 減 額	△597,083
現 金 及 び 預 金 の 期 首 残 高	1,376,990
現金及び預金の四半期末残高	779,907

(主な増減理由)

当第 1 四半期の現金及び預金の増減理由は下記によります。

税引前四半期純損失	△ 34,688 千円
減価償却費	13,177 千円
賞与引当金の増加額	16,200 千円
売上債権の増加額	△21,742 千円
棚卸資産の増加額	△444,107 千円
差入保証金の減少額	12,654 千円
仕入債務の増加額	5,148 千円
法人税等の支払額	△27,754 千円
有形固定資産の取得による支出	△3,331 千円
有形固定資産の除却による支出	△10,383 千円
敷金及び保証金の取得による支出	△3,326 千円
借入金の純減少額	△98,435 千円
配当金の支払額	△11,100 千円
その他	10,605 千円
合 計	△597,083 千円

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

項 目 \ 期 別	第 27 期 第 1 四半期 〔自平成 29 年 2 月 1 日 至平成 29 年 4 月 30 日〕
短 期 借 入 金 の 増 減 額	—
短 期 借 入 金 の 期 首 残 高	2,000,000
短期借入金の四半期末残高	2,000,000

(主な増減理由)

第 1 四半期は、増減がありませんでした。

(3) 長期借入金の増減

(単位：千円)

項 目 \ 期 別	第 27 期 第 1 四半期 〔自平成 29 年 2 月 1 日 至平成 29 年 4 月 30 日〕
長 期 借 入 金 の 増 減 額	△98,435
長 期 借 入 金 の 期 首 残 高	1,699,393
長期借入金の四半期末残高	1,600,958

(主な増減理由)

第 1 四半期は、約定返済 198,435 千円の返済を行いました、長期安定資金確保のため新規に 100,000 千円の借入を行いました。これにより長期借入金は 98,435 千円減少いたしました。

(注) 長期借入金には 1 年内返済予定の長期借入金を含んでおります。

V その他

該当事項はありません。